



日本離床学会
講座コード: R-26

モニター・検査データ不足の不安を解決

自信をもってケア・リハビリを行うための

回復期・在宅 呼吸アセスメント講座

日時: 2022年 12月18日(日) 10:00 ~ 16:10

場所: インターネット生ライブ中継

講師: 飯田 祥 先生(日本離床研究会 学術研究部)

対象: 回復期や訪問リハに携わる看護師、PT、OT、ST (左記以外でも受講可)

受講料: 会員 9,800 円 一般 12,800 円 (税込) **新入会 会費無料**

見逃し受講期間
12月19日(月)~1月1日(日)

※定員になり次第締切り

もれなく
患者さん・家族
指導用リーフレットが
もらえます



実は苦手な呼吸の評価

自分に“たぶん今日も大丈夫”と言い聞かせていませんか?

見過ごすと急変に直結する呼吸の変化。“いつも大丈夫”が“今日も大丈夫”とは限らず、患者さんの状態変化を見逃した結果、大変なことに…そんな事態を避けるため、回復期・在宅に必要な呼吸に関する知識をまとめた集中講座を開催。経験に裏付けされた臨床の知識とベテランのコツを学んで「SpO₂を診るだけ」というアセスメントからの脱却を目指します。

“ほんの少しの異常”に気づけるスタッフを目指そう 回復期・在宅だからこそ知っておきたい呼吸評価のポイント

7

1 モニター・機器が少ない回復期・在宅だからこそ大切! “いつもと違う”そう感じたときにすべきこと

- 回復期・在宅に呼吸の知識が絶対必要な理由
- 急変は“前兆”を見逃さないことが肝要 ~臨床の勘を磨こう~



2 ポイントを絞って押さえる呼吸の基礎知識

- 難しい表現はやめよう!
イラストとイメージだけで理解する呼吸の解剖・生理
- よく遭遇する呼吸器に関する病態と特徴 - COPD・誤嚥性肺炎・神経難病 -

3 これは状態悪化のサインだ! 回復期・在宅における呼吸アセスメントのポイント

- ベテランから学ぶ急変の鑑別ポイント
~視診・触診 あてになる所見とならない所見~
- この音だけは聞き逃してはいけない!
回復期・在宅における聴診のコツ
- 痰が出ないと悩んでいませんか?
意外と見過ごされている湿度管理 ほか



4 回復期・在宅でよくみる酸素療法の基礎と留意点

- ①非侵襲的陽圧換気療法 (NPPV)
 - ・NPPV 基礎知識 - 人工呼吸器との違い、基本モード -
 - ・NPPV 導入の実際 - マスク選択からトラブル対応 - ほか
- ②人工呼吸器
 - ・人工呼吸器の仕組みと基本モードの理解
~病院と在宅での人工呼吸器の違い~
 - ・病院ではあまり使われない在宅呼吸の強い味方 カファシスト



③在宅酸素療法 (HOT)

- ・間取りクイズで考える 酸素濃縮機の設置場所
- ・動線・活動量と SpO₂ 低下の関係 ~具体的な対策を考える~
- ・酸素のチューブはどれだけ延長しても酸素濃度は変わらない?



5 あなたの常識は非常識! 教科書的な呼吸管理のウソホント

- ・排痰目的にまず側臥位は間違い?
最も新しい呼吸ケアの考え方とは
- ・出ていますか? 安静時と労作時の酸素流量の設定
~ CO₂ ナルコーシスの落とし穴 ~
- ・HOT は一生外せない? 気管切開は一生閉じられない?



6 回復期・在宅から在宅への活動量低下をどうおさえるか ~ ADL 維持を目的とした究極の対策 ~

- ・回復期・在宅で呼吸状態を悪化させないための
離床の考え方 ~基本コンセプト~
- ・週数回の低頻度介入のエビデンスはあるの? 家族・多職種を巻き込むコツ
- ・あなたの申し送りは通じていない?
病期を問わず患者情報を共有する秘策 ほか

7 症例を通した呼吸ケアの実際 ~離床の在り方を考える~

- ・入浴すると SpO₂ 70% 台の症例
入浴希望があった場合入れるべきか
- ・HOT が恥ずかしくて受け入れ困難により
退院が延びた症例への対応
- ・夜間 NPPV 日中眠くてゴロゴロ 活動量確保に難渋した一例 ほか



※この講座は離床アドバイザー習得コースの理論コース 1 単位を取得できます。

受講方法

- ① ホームページよりオンライン登録
- ② 添付の申し込み用紙に記入の上、FAX または郵送
申し込み用紙はホームページからもダウンロードできます

日本離床学会

検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に! 日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-2-12 プラールビル 2F
ホームページ <https://www.rishou.org/>
TEL 03-3556-5585 FAX 03-6272-9683
Eメール jsea@rishou.org

